

## 第13回高玉芝居定期公演 広がり続ける義理人情劇

毎年恒例の高玉芝居定期公演は11月23日、今年も満員の観客で埋め尽くされたさくらの里文化伝承館（蚕桑地区コミュニティセンター）で開催されました。

この日の演目は、9月に瑞龍院で上演された「松竹梅 三兄弟 五月の仇討」の完結編。物語後半の台本がないため、瑞龍院上演は仇討に向かおうとする場面で終わりましたが、続編を期待する要望を受け、オリジナルの台本をつくっての上演となりました。芝居は、最後に兄弟そろって親分の仇討をする場面で盛り上がり最高潮に。観客からは「（瑞龍院上演の）続きが気になっていたので満足。とてもよかった」と笑みがこぼれました。



## 第58回西置賜地区駅伝競走大会 3連覇を目指すも優勝まであと一步

爽やかな秋晴れとなった11月6日、西置賜1市3町でたすきをつなぐ西置賜地区駅伝競走大会が開催されました。

コースが一部変更された今大会は、小学生区間が1区間増となりましたが、町からは今年も2チームが出場。前半でやや出遅れた白鷹町チームでしたが、3連覇をかけて後半に巻き返し。しかし、最後は長井市に逃げ切れ、約30秒差の2位と惜敗しました。それでも、小学生を中心に12区間中6区間で区間賞を獲得。町の今後の陸上長距離競技の発展を期待させる力走を見せました。



### 【区間賞】

1区 中村咲楽(鮎貝小6年)	8区 手塚雄一朗(十王)
4区 中村雅楽(鮎貝小4年)	9区 馬場一翔(鮎貝小5年)
6区 菊地愛羅(東海大山形1年)	10区 國谷美裕(荒砥小6年)

## 甘くて酸っぱい白鷹の紅(あか) 鮎貝小学校でりんご収穫体験

鮎貝小学校の3年生26人は11月10日、学校近くのりんご畑で、自分たちが摘果、葉摘みをして育てたりんごを収穫しました。

今年のはりんごは、天候の影響で全体的に色つきが良くなかったとのことでしたが、それぞれが葉摘みの際にシールを貼った自分のりんごを見つけると、「あ、俺のあった!」と笑顔に。一つのはりんごも残すことなく収穫した児童たちは、最後に採れたてのりんごをいただき、「甘酸っぱい」「冷たくておいしい」と大喜びでほおばりました。

